放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

<u>公表</u>令和4年12月1日

事業所名 放課後等デイサービスLove & Smileりやん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	0	静・助の活動を考えなから部屋の活用をしている。また、大 気が良い日には外へ出で遊ぶようにしバランスをとっていま す
· 体	2	職員の配置数は適切である	1	4	増員することが望ましいが、組織的に対応することで円滑な 業務を行えるよう工夫している。
制整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	4	賃貸なので限界はあるが、大家さんなどにもお願いをするなどして、利用児が過ごしやすい環境になるよう工夫していくことを今後も続けていこうと思います。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	毎朝の朝会や普段の会話の中、月一度の個別のねらいの話し合いなどで日々情報交換や療育の仕方や内容を確認し合っています。
業	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	初めてのアンケートであるため、意向になどは話し合い業務 改善につなげていけるように努めていきます。
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	0	これから初めて公開していきます。
I	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		5	第三者評価委員会には取り組んでいません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5	0	月に一度のペースで様々な利用児の特性を加味した研修を 行っています。また、虐待防止研修や外部の研修にも取り組 むように努力しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	アセスメントシートを利用したり、前職員で分析などを行いな がら計画を作るようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	2	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	管理者・主任との計画を全職員で共有しチームでの療育が できるよう現在、基盤を作るよう努力しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	0	季節折々の行事などを取り入れたり、天気の良い日には戸 外へ出たりするなど活動の内容を考え固定化しないように取 り組んでいます。
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	0	一人一人の課題活動として設定したり、普段いけない場所 へみんなと出かけたりし社会性を育てるなどできるよう支援 しています。
な支援の	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	利用児の年齢の差もありますが、帰りの会には全員の利用 児と取り組んでいます。なかなかかかわりが持てない利用児 同士をその帰りの会の中で積み重ねるようにしています。
提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	0	朝の朝会で利用児の利用・送迎・療育内容を確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	1	緊急のものは管理者と共有するようにしています。五戸まで の送迎が入っているため、次の日に確認するようにしていま す。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	その日かかわった保育士が記録をとるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5	0	コロナのため、電話での対応になったりすることがあ る。定期的なモニタリングの実施は取り組んでいます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5	0	行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5	0	参加しています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校によっては連携がでできる学校できない学校があり困惑することもあります。年間行事は保護者に同意を得ていただき行事の確認をするようにしています。

	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	現在受け入れはありません
関係機	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	小学校1年生に上がる利用児に対しては、できるだけ 情報をいただけるよう相談支援員を通して情報提供を してもらうことが多いです。
機関や保護	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	5	0	現在対象者はいません。
者との	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	連携をとることは難しく実現することができていません。
携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	☆園で触れ合うことはあるか、コロナ対応もあり現在は活動を一緒にすることはできていません。今後、終息した時には積極的にかかわりをもっていきたいと思っています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	5	参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	0	毎日の連絡ノートやフィンや電話でその都度対処しています。五戸地区の利用児の保護者とは送迎時の時にしか直接会うことができないのでとても残念に思いませ
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	2	ペアトレーニングとして、はっきりと打ち出すことは現在 は取り組んでいないが、日々の会話の中で保護者に 対しアドバイス的に話をしている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	わかりやすく伝えるよう努力しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	5	0	職員とも共有しながら、早急に面談や電話・ラインなど で保護者の話を聞き、アドバイスや支援の方法を話す よう努力しています。
保護	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	5	現在コロナのため活動には取り組んでいません
者への	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	0	職員からの情報を確認しすぐに対応にあたるよう努力 しています。
説明責任	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	0	月一度のおたよりや写真は個人にラインアルバムとして送ったり、ホームページなどで活動の様子を公開してます。
等	35	個人情報に十分注意している	5	0	鍵付きの書棚にしまい、毎日鍵をかけています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	ています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	5	0	コロナの影響で事業所を開放することはできないか、ハローワイン の時に仮装をして地域を歩いたり、近くの介護施設へ出向き踊りを 見せたりしながら、少しずつではあるが地域とのかかわりができる よう努めている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知している	5	0	周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	5	0	年に5回の避難訓練を実施しています。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	5	0	2か月に1〜2回のペースで取り組んでいます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	取り組んでいます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	5	0	現在対応利用児はいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	5	0	研修で行い共有しています。
